

総括

全28項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、それぞれのプランの目標の達成を目指して取り組みを進めている。その結果、農業分野では、調整作業機の導入や防除作業の機械化により作業の効率化が進められ、産地の維持・拡大が図られている。林業分野においても、作業道の整備や高性能林業機械の導入により、素材生産量の増加につながった。商工業分野では、「ものづくりサポートセンター」の整備に向けた計画が着実に進み、中心市街地活性化に向けた取り組みが本格化している。また、鍛冶職人を育成する施設の整備により、伝統技術の後継者育成に向けた環境が整った。観光分野では、龍河洞の活性化に向けた洞内整備やヤ・シバークの地域観光拠点づくりの取り組みが進み、物部川地域の観光資源の魅力向上が図られている。今後とも、市町村や関係団体、民間事業者等との連携協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進していく。

これまでの取り組みの成果等

◎各分野の取り組みの成果と今後の方向性

■農業分野

ニラ、シントウなど地域の基幹園芸品目や、ユズについては、調整作業機の導入支援や経営改善計画書の策定、グリーンカレッジ（新規就農者勉強会）の開催などによって、作業の省力化や大規模経営体・新規就農者の育成に取り組んできた。今後とも、高齢化による生産者の減少や労働力の不足に対応するため、施設の高度化等や新規就農者の育成等に取り組む、産地の維持・拡大を図っていく。

■林業分野

原木増産に向けた作業道等の基盤整備をはじめ、高性能林業機械の導入やOJT(緑の雇用)、林業大学校と連携した担い手の確保の取り組み等により、素材生産量が向上し、ほぼ目標を達成することができた。今後も、県内の事業所へ素材を安定的に供給するため、作業道や高性能林業機械を活用した効率的な作業システムの構築及び林業大学校と連携した新たな担い手の育成・確保に取り組んでいく。

■水産業分野

シイラについては、県外での販路開拓により、有望な取引先が得られたため、年々販売額が伸びてきている。これからも、こうした大口取引先等との連携を強化し、確実な取引先を確保していくことで、シイラの販売額の増大を目指し、漁業者の所得向上を図っていく。

■商工業分野

南国市では、ものづくりサポートセンターのR3.3月オープンに向け、中心市街地活性化協議会を立ち上げ、地域の賑わいの創出に向けた取り組みが開始された。香美市では、チャレンジショップ機能の充実を図り、チャレンジャー（入居者）の安定した確保のほか、空き店舗調査とその活用策の提案等により、空き店舗を利用した新規開業が着実に増えてきている。これからも商店街のにぎわいを促すイベントの実施やチャレンジショップに関する情報発信、卒業後の事業者に対する物件の紹介、斡旋等、各市内での商店街の振興を図る。また、土佐打刃物については、「鍛冶屋創成塾」がR元.11月に開塾し、3人の塾生に対する研修を実施している。今後は全国に向けてこの施設のPR促進や研修内容の磨き上げなどに取り組んでいく。

■観光分野

龍河洞では、「龍河洞エリア活性化基本計画」に沿って、龍河洞保存会をはじめ、商店街、地域住民、行政が一体となり、龍河洞エリア全体の活性化に向けた取り組みが進められ、本洞内の整備も完了し、R元.7月に「新・龍河洞」としてリニューアルオープンした。その結果、R元年の観光入込客数は、9年ぶりに12万人を超えている。ヤ・シバークでは、当該施設を核とした地域のにぎわいの拠点、公園や商業施設の機能強化、海浜を活用した新たな体験型観光のコンテンツづくりに着手したところである。また、物部川流域3市の観光関係事業者の連携により、H29年に物部川DMO協議会が設立され、当地域の広域観光を推進する組織体制が確立した。今後とも、龍河洞やヤ・シバークの施設整備等により、物部川DMO協議会がエリアでの周遊・体験型の旅行商品を作成し、地域内で観光客の増加を目指して、官民一体となって取り組んでいく。

◎地域アクションプランによる雇用の創出（H28～R元） 47人

主な取り組み事例

農業	林業	水産業	商工業	観光
----	----	-----	-----	----

※○囲み数字は時点を表す例）平成29年度＝㉘ 令和元年度＝㉙

No.7 地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化

地域:南国市
実施主体:JA高知県土長地区出資農業生産法人(南国スタイル、農家レストランまほろば畑、JA高知県(土長地区)等)

取り組みの内容:・既存取引先からの紹介や営業活動による新規供給先の開拓

主な成果:・学校給食における地元野菜の供給金額(割合)
㉘:5,373千円(20.8%)
→㉙:5,807千円(23.0%)
・業務筋への供給 ㉘:20事業体 → ㉙:30事業体

今後の方向性:・中学校給食への供給を含めた新規供給先の開拓促進
・後継者の確保、育成



No.13 民有林における原木の増産

地域:物部川地域全域
実施主体:各森林組合、林業事業者等

取り組みの内容:・高性能林業機械の導入、作業道など基盤整備
・人材育成

主な成果:・原木生産量(民有林の計)
㉘:35,887m³ → ㉙:54,138m³
・雇用の創出 ㉘:30人 → ㉙:42人

今後の方向性:・素材の安定供給に向けた高性能林業機械等の活用と効率的な作業システムの構築
・林業大学校との連携による新たな担い手の育成・確保



No.22 高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売

地域:香美市
実施主体:合同会社 高知カンパニブルワリー

取り組みの内容:・クラフトビール醸造所の開業 ㉘
・新商品開発、製造機器の設置
・アンテナショップでの販売、レストランでの提供 ㉘～
・第33回高知県地場産大賞・奨励賞受賞 ㉘
・「モンベル アウトドアレジッド本山山ピクニックセンター」「スノーピークかわの駅おち」等での提供 (R元～)

主な成果:・「ジャパン・グレートビア・アワーズ2019」金賞受賞 ㉘
・売上高 ㉙:29,199千円

今後の方向性:・生産拡大に向けた設備投資計画の策定
・製品管理システムの導入及び県版HACCP認証取得
・商品力の向上及びブランドの確立



No.10 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組

地域:南国市
実施主体:企業組合ごめんシャモ研究会、南国市商工会、南国市

取り組みの内容:・食鳥加工センターの整備 ㉘
・新商品(シャモ焼きやき)の開発 ㉘
・販促活動の実施

主な成果:・売上高 ㉘:21,553千円 → ㉙:50,164万円
・雇用の創出 ㉘:8人 → ㉙:18人

今後の方向性:・衛生管理の徹底
・販売促進、売上増加



No.14 シイラ等の加工食材活用

地域:香南市
実施主体:高知県漁協手結支所

取り組みの内容:・買い支えによる浜値の維持
・県外の手外食チェーンへの販路拡大
・県外水産会社と連携した学校給食用の加工品開発と販路拡大

主な成果:・シイラ加工事業の売上高
㉘:16,011千円 → ㉙:48,944千円
・シイラ原魚購入数量
㉘:160t → ㉙:164.5t

今後の方向性:・安定的な取引をしている有望な大口取引先等との連携強化



No.25 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信

地域:香南市
実施主体:(一社)香南市観光協会、香南市等

取り組みの内容:・物部川流域旅行商品
・体験モニター開催
・観光協会HP、自然・体験キャンペーン特設サイト等での情報発信
・歴史資源の磨き上げと周遊コースづくり

主な成果:・観光客入込数 ㉘:51.8万人 → ㉙:64.2万人
・造成した周遊コース数 6コース

今後の方向性:・物部川地域全域での観光周遊コースの造成や地域の観光資源のさらなる磨き上げ
・地域内の観光周遊コースの掘り起こし



No.11 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業

地域:南国市
実施主体:川添ヤギ牧場

取り組みの内容:・新畜舎の整備、搾乳・飼料生産機械の導入 ㉘
・飲用ヤギミルクの商品化と販売開始 ㉘

主な成果:・売上高 ㉘:1,800千円 → ㉙:23,083千円
・飼育ヤギ頭数 ㉘:36頭 → ㉙:200頭
・雇用の創出 ㉘:2人 → ㉙:9人

今後の方向性:・生産体制の強化及び安定的な搾乳量の確保
・販売の拡大による売上増加



No.18 香南市の地場産品販売促進

地域:香南市
実施主体:香南市観光協会、香南市内の事業者

取り組みの内容:・カタログの発行(通年号、サマーフェアチラシ)
・県内外への出店・カタログ等PR

主な成果:・売上高 ㉘:8,407千円 → ㉙:145,503千円
・カタログへの参加事業者 ㉘:36店舗 → ㉙:53店舗
・ふるさと応援寄附金の売上
㉘:14,231千円 → ㉙:138,670千円

今後の方向性:・ギフトカタログやふるさと応援寄附金を通じた幅広い年齢層へのPR



No.28 龍河洞エリア活性化推進プロジェクト

地域:香美市
実施主体:龍河洞エリア活性化協議会、(公財)龍河洞保存会等

取り組みの内容:・龍河洞エリア活性化基本計画の策定 ㉘
・旅行会社へのセールス活動の実施、イベント開催
・安全性、利便性向上を目的とした洞内外の整備
・照明等新たな演出機器設置による本洞等の魅力向上

主な成果:・龍河洞リニューアルオープン(R元.7月)
・観光客入込数 ㉘:10.8万人 → ㉙:12.8万人

今後の方向性:・龍河洞動線・景観整備計画に沿った事業の具体化と実践
・旅行会社、メディアへのプロモーション活動の実施



第3期計画で設定した数値目標に対する評価

数値目標の達成状況について、以下により4段階評価を実施
 ※1つの地域アクションプランで複数の数値目標を設定したものもあるため、
 下記の件数と地域アクションプランの数とは一致しない

区分	数値目標に対する評価基準		件数	構成比
A+	第3期計画の 取り組み開始	・目標を達成したもの → 目標の達成率（または達成見込率） が100%以上	13件	36.1%
A	時と比べて、 数値を改善	・目標をほぼ達成したもの → 達成率（または達成見込率）が 60%以上100%未満	7件	19.4%
A-	もしくは維持で きたもの	・目標の達成に向けて十分な進展が見られな かったもの → 達成率（または達成見込率）が 60%未満	6件	16.7%
B	第3期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの		10件	27.8%
評価計			36件	100%
—	実績値がまだ出ていないなどの理由で現時点の評価ができないもの、または目標の設定がないもの		1件	

主な支援策の活用状況 (①②④:H28～R元 ③:H28～H29)

① 産業振興推進総合支援事業費補助金	6事業	49,561千円
② 観光拠点等整備事業費補助金	7事業	134,136千円
③ 歴史観光資源等強化事業費補助金	4事業	26,746千円
④ 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業）	22件	72回



○ヤギ畜舎 H29.4月稼働
 地域AP No.8
 { H28年度産振補助金 }



○「鍛冶屋創生塾」R元.11月開塾
 地域AP No.20
 { H30年度産振補助金 }

課題の克服やさらなる成果の拡大に取り組む主な重点項目

項目	見えてきた課題・方向性	さらなる挑戦
No.16 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地活性化プロジェクト	中心市街地活性化の拠点となるものづくりサポートセンター（仮称）の整備に向けたハード面、ソフト面での取り組みが具体的に進んでいる。中心市街地を活性化させるためには、この拠点施設の来場者を中心市街地に周遊させ、にぎわいを創出する取り組みが必要である。 また、当該施設で技術を学び、地域の空き店舗等での起業を促すためのチャレンジショップ制度の創設や創業支援制度の充実等が必要である。	◎R3.3月のものづくりサポートセンター（仮称）のオープンに向けて、中心市街地活性化協議会、市商工会との連携を図るとともに、中心市街地エリアの事業者を活性化に向けた取り組みに参画させることにより、日常的ににぎわい創出につなげていく。 ・観光客を地域で周遊させる仕組みづくり（既存の店舗にスタンプリヤーやフィギアの展示、販売の協力依頼） ・南国市の特産品の開発、販売 ・チャレンジショップ制度の創設
No.17 ヤ・シィパークを核とした地域の活性化推進プロジェクト	ヤ・シィパーク将来構想を検討し、H30に策定した「ヤ・シィパーク活性化基本計画（ランドデザイン）」及びR元の検証事業を踏まえ、公園の再整備方針の検討を進めている。 今後、公園整備を進めていくうえで、キャンプはもとより、マリナクティビティやサイクリング等の体験メニューの充実や県内外へのプロモーション活動等、ソフト面での取り組みを進めるとともに、観光客の受入態勢づくり等、運営主体である(株)ヤ・シィの組織体制の強化に取り組む必要がある。	◎ヤ・シィパーク活性化推進協議会でマリナクティビティやサイクリング、物部川流域の旅行商品化に向けた取り組み等、ソフト面の戦略づくりを進めていく。 ・キャンプ事業など公園整備に向けた基本計画の策定 ・マリナクティビティの体験メニューの充実 ・サイクリング事業の立ち上げ ・(一社)物部川DMO協議会や観光協会等と連携した施設の知名度と集客力の向上に向けた取り組みの推進
No.20 地場産業（土佐打刃物、フーフ）の振興	鍛冶屋創生塾の開塾により、後継者を育成する体制が構築されたため、今後とも鍛冶職人の養成施設としての知名度向上や継続的な塾生の確保などにより、土佐打刃物の人材育成に向けた取り組みが必要である。 フーフについては、市の施設での掲揚やフーフコンテストの開催などによりPRと普及が図られた。フーフの利用の拡大に向けてフーフから波及する新たな商品開発と販売促進に向けた取り組みが必要である。	◎鍛冶屋創生塾の知名度向上や塾生の育成など土佐刃物連合協同組合、市商工会、行政が一体となって取り組みを推進する。 ・県外での移住相談会や会合で塾の運営や活動状況のPR ・研修内容の磨き上げ、卒業後に技術研鑽できる環境づくり ・卒業後の雇用の確保 ◎フーフ製造業者や市観光協会、行政が協力してフーフの知名度向上に向けた取り組みを行う。 ・フーフを活用したイベントの継続 ・フーフの生地を活用した商品開発の検討
No.23 広域観光の取組の推進	物部川流域3市の観光関係事業者等が連携して、広域観光組織「(一社)物部川DMO協議会」を設立し、ビッグデータを活用したマーケティングや、体験メニュー等の開発、広域観光のプロモーション・セールス活動、広域連携イベントの開催等に取り組む、エリアへの観光客の増加につなげている。 今後、物部川地域での広域観光をより一層推進するため、(一社)物部川DMO協議会の体制を強化し、周遊観光につながる旅行商品の造成・販売、観光商品の磨き上げが必要である。	◎物部川流域3市の関係者との連携を図りながら、官民一体となって、物部川地域の自然や文化、観光施設等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品となるよう磨き上げることで、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大に取り組む。 ・事業者に対するマーケティング結果のフィードバック及びそれを生かした戦略的なプロモーションへの展開 ・持続的・安定的に収益を上げることができる旅行商品の造成、販売 ・エリアの主要産業である一次産業と観光を掛け合わせた旅行商品の開発 ・マーケティング等のノウハウを地域人材に浸透させる人材育成の取り組み及びDMO協議会の体制強化
No.28 龍河洞エリア活性化推進プロジェクト	H30年に観光拠点整備等補助金を活用し、龍河洞観光コースの安全性・利便性向上対策（洞内Wi-Fiの敷設、出口休憩所の改修等）及び新たなコンテンツの開発を実施し、R元.7月に「新・龍河洞」としてリニューアルオープンした。 今後は新たなコンテンツである「西本洞コース」のオープンに向けた取り組みを進めるとともに、龍河洞エリア活性化協議会を通じて、龍河洞動線・景観整備計画に沿った事業の具体化を進めていく。	◎(一社)物部川DMO協議会など関係団体と連携しながら、施設改修の検討や新コンテンツの内容の充実、周遊観光につながる旅行商品の開発などに取り組む、観光施設としての魅力の向上及び観光客の増加を図る。 ・龍河洞エリア活性化協議会で継続した議論を行い、優先度をつけた施設整備の実施 ・新コンテンツの「西本洞コース」のオープンに向け、ガイドの養成やコスチュームの整備 ・(一社)物部川DMO協議会や物部川地域の他の観光事業者との連携・協働を通じて、周遊観光につながる旅行商品の開発や、マーケティング・広報を通じたイバウンドを含む新たな観光客の獲得